



とほろざわ THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2026年2月 通巻 434号

今月のテーマ TOF・FF・HTW



会 長	小林 勉	クラブ会長主題 「人、出会い、交流」
副会長	岡部八千代	国際会長 A・シヤナヴァスカーン（インド） 「より良い世界のために、共に」
	澁谷弘祐	アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン（香港） 「大きなインパクトを起こそう」
書 記	宮地輝子	東日本区理事 山下 真（十勝）「ワイズらしさ再発見」
会 計	金本伸二郎	関東東部部長 鈴木雅博（江東）「CHANGE （変革）若者から発信！」

今月の聖句

一人より二人の方が幸せだ。
共に労苦すれば、彼らには幸せな報いがある。
たとえ一人が倒れても
もう一人がその友を起こしてくれる。

コレヘトの言葉 4章9・10節

2月 例会

日時：令和8年2月14日（土）

18：00～20：00

会場：YMCA 所沢センター

司会 澁谷弘祐

1 開会点鐘

小林 勉

2 ワイズソング

3 ワイズの信条

4 聖書・祈り

金本伸二郎

5 YMCA 報告

太田 聡

6 ワイズ報告

7 今年度の反省並びに来年度の要望と展望

宮地輝子

8 誕生・結婚記念

9 閉会点鐘

小林 勉

参加・不参加またお弁当の要・不要を
クラブLINEで2/9（月）までにお知らせくだ
さい。

高次脳機能障害支援法（正式名称：高次脳機能障害者支援法）について 上山武夫

私のご家族と一緒に令和元年に立ち上げた「高次脳機能障害家族の会さやま」のメンバーにも嬉しいニュースが入りました。高次脳機能障害支援法が2025年12月16日に国会で可決成立しました。2026年4月1日から施行予定です。

高次脳機能障害とは病気や事故による脳の損傷が原因で記憶・注意・遂行機能・社会的行動障害、失語、失行、失認などが障害される状態を指します。外見から分かりにくいことも多く、社会生活で困難を抱える方が多いとされています。発達障害者と同じで目に見えない障害といわれています。患者数は23万人と推測されます。障碍者手帳は精神保健福祉手帳を取得することが多い。今から思えば、〇〇さんも高次脳機能障害に該当するなあとと思う方が何人も思い浮かびます。

法律ができるということで、高次脳機能障害が一般の方にも理解してもらえる機会が多くなったということがとても大きいです。

1) 基本理念の明確化

法律は、高次脳機能障害者への支援は以下を重視するよう定めています：

- 本人の意思を尊重すること
- 自立と社会参加の機会を確保すること
- 尊厳を保ち、共生社会が実現できること

2) 国・自治体の責務の明確化

国や自治体が果たすべき責務が法律上で定められます：

- 支援策の計画・実施
- 医療・生活・就労・教育などを跨いだ支援全体の

- 社会全体の理解促進などを推進します。

3) 高次脳機能障害者支援センターの設置

都道府県ごとに「高次脳機能障害者支援センター」を設置することが求められます。センターでは：

- 専門的な相談・情報提供
- 支援機関との連携
- 支援計画の調整などを行います。

4) 相談・支援体制の整備

支援法には、以下のような仕組み整備についても触れられています：

- 日常生活や社会参加の支援のための相談窓口
- 支援する医療機関・専門職や福祉機関との連携
- 家族支援、就労支援などの取り組み促進

5) 教育・就労支援の強化

学校現場においては、

- 個別の教育支援計画や指導計画の策定の働きかけが期待されます。

(学校・就労に関する内容が法案審議時に含まれていたことが報じられています)

※なぜこの法律が重要か

高次脳機能障害は外見から分かりにくく、本人・家族・社会の理解が十分でない場合が多く、支援が届きにくいという課題がありました。この法律の成立によって：

- 全国どこでも支援体制が整う基盤ができる
- 社会全体で支援や理解が進む機会になる
- 支援の「格差」が是正されやすくなる

・法律ができたからすぐに高次脳機能障害者への支援が良くなるものではないが

都道府県ごとに「高次脳機能障害者支援センター」が設立できてくれば、高次脳機能障害への支援体制が構築され、高次脳機能障害に対応できる相談員、支援者が増えてきます。

(例えば、言語聴覚士(ST)という専門家は少ないです。失語症の方には言語聴覚士(ST)の訓練が必要ですがなかなか訓練を受けられない高次脳機能障害者が多いです) 医師でも高次脳機能障害をわかる先生は少ないです。ただ法律ができることで支援体制が徐々に整っていきます。高次脳機能障害を支援している者としてとても喜ばしいことです。

1 月例会報告

柿原正義

1 月 10 日の例会報告ですが小林会長以下 7 名参加、大澤邸にて開催されました。いつもの鐘ではなく、小林会長のチンから開催、ワイズソング等、いつもある青色の冊子がなくて、大澤さんの音頭で皆が復唱する形で、初めての経験でしたので不謹慎ですが面白いやら楽しい例会の始まりです。

金本さんの名前のことや楽しいひと時が過ぎ、小林会長のチンで終了。

二部は参加者持ち寄りの食事会のスタートです。八重樫さんのハンセン病のお話、ハンセン病自体は知っていましたが、どういった病気かもよくわからず、神経の病気だと、初めて知りました。

一番、印象に残っているお話が身体中の感覚がなくなり最後に残ったのが、舌と口で、その下と口を使って点字で文字を読み解く、これは私にとって衝撃的なお話でした。五体満足で生まれ、勉強もちょっとはやりましたが、舌と口で文字を読む。きっと点字のギザギザで舌や口は切れ、それでも文字を読む、物凄いことだと思いました。あと小林会長の漢字の足し算や会長が若い頃？船に乗っていたなんて初めて聞いたので物凄く興味深かったです。多分ワイズに入会しなかったら、こんな機会もなかったかなと思います。よい機会を与えてくださったワイズに乾杯!!



YMCA 報告(埼玉 YMCA 総主事)

太田 聡

新しい年を迎え、早くも一ヶ月が過ぎました。2026 年の幕開けとともに、YMCA では地域の子どもたち、そして会員相互の絆を深める多彩な活動を展開いたしました。＜笑顔がはじけた「レッツゴーYMCA」＞

1 月 5 日、所沢センターにて「レッツゴーYMCA」を開催いたしました。当日は約 70 名の子どもたちが参加し、冬の寒さを吹き飛ばすような活気に包まれました。プールで思い切り泳ぎ、昔ながらの餅つきを体験し、リーダーたちとゲームに興じる。子どもたちの弾けるような笑顔は、私たちにとって何よりの励みとなりました。

＜自己研鑽の 5 日間：ステップ 3 研修への参加＞

私事ではございますが、1 月 6 日から 10 日にかけて、御殿場の東山荘にて行われた「ステップ 3 研修」に参加し

てまいりました。全国から集まった 9 名の仲間と共に、YMCA が大切にするキリスト教精神（クリスチャニティ）への理解を深め、NPO マネジメント等の専門的な学びを得たことは、今後の運営においても大きな糧となると確信しております。

<絆を深める新年会と今後の展望>

1 月 17 日には、3 ワイズ合同の新年会が開催されました。お食事を囲みながら、それぞれの自己紹介や近況、今関心を寄せていることなどを分かち合い、和やかで楽しいひとときを過ごしました。現在、埼玉には 3 つのワイズメンズクラブがありますが、このように活動を支えてくださる皆様の存在を、改めて大変心強く感じました。

地域にさらに深く根ざし、必要とされる YMCA・ワイズメンズクラブでありたいと決意を新たにす一月となりました。2 月は寒さが一段と厳しくなります。皆様どうぞご自愛ください。今月もよろしくお願いいたします。



※ 須田さんを囲んで ※

岡部八千代

ブリテンの寄稿文に常に学ばされ、感動を受ける須田さんに是非お会いしたいと熱望していた私だったが、ついにお会いすることが叶った。その機会をセッティングしてくれた大澤さん、宮地さんと 1 月も終わろうとした 1 月 30 日、4 人で美味しいランチを頂きながらの楽しい女子会となった。初めてお会いした須田さんは想像していたより優しく気さくで理知的な方であった。語り口は穏やかで流石、相談員である。今回お会いできたのは、2 年間の施設生活から息子さん家族との生活に戻られたからである。60 代半ばからリュウマチを患いその影響で脚が思う様に動かないと杖を使用していたがご自分の脚でしっかりと歩かれていた。「施設生活は、全てスタッフの方がやってくれるので安全で楽であるが、やはり自分で出来ることは自分でやらないとどんどん退化していく」と話され現在の日々を楽しんでいる様にうかがえた。須田さんは元々高校の英語教師だったそうだ。ご主人とは同じ学校で出会い結婚されたそうだが、当時は同一校で

の結婚の場合はどちらかが退職しなければならなかったそうで、須田さんは結婚と同時に退職されたとのこと。現在では考えられない事がまかり通っていた時代だったのだと思い知らされた。更に、結婚と同時にご主人のお母様から、「今日からは、料理、洗濯、掃除等家事全般は嫁であるあなたの役目ですよ」と言い渡されたそうだ。現在の様に電化製品が無い時代に悪戦苦闘しながらもや



り抜いた須田さん。更に、家庭を守りながらも現状に甘んじることなく、幼稚園の先生、児童民生委員、NPO 法人立ち上げ等、地域の要人として大活躍されたが、82 歳の時、後任者に道を委ね身を引く潔さも示した。まだまだ、お元気でワイズメンズの頭脳メンバーとして重要な方だ。更に戦争体験、NPO 法人で対応した青年達から教えられたことの話等々、聞きたい話が沢山ある。ワイズメンズの月例会会場にエレベーターが設置されたら、須田さんも出席できるのにと残念に思う次第だ。私にとって、有意義な会となり「私も頑張らなくては」と勇気づけられた。

今後の行事予定

宮地輝子

2 月 14 日(土) 2 月例会 例会報告 金本
YMCA 所沢センター 18:00~
「今年度の反省並びに来年度の要望と展望」
2 月 15 日(日) 後期区費及び後期部費納期
3 月 1 日(日) ブリテン発行 一面 小林茂和
3 月 14 日(土) 3 月例会 例会報告 上山
YMCA 所沢センター 17:00~
卓話 岡部八千代
「100 年前の子どもたち」

お知らせ ~後期区費及び後期部費納期~

2 月 15 日(日) 半年分 18,000 円を振り込んでください。

◎郵便局からの送金の場合は

送付先 ゆうちょ銀行 記号 10360 番号 68683481
口座名 トコロザワワイズメンズクラブ

◎ゆうちょ銀行以外からのお振込の場合

送付先 店番 038 種別 普通 番号 6868348
口座名 トコロザワワイズメンズクラブ

1 月例会	所沢クラブ会員	7 名
	ゲスト	2 名
	計	9 名